

虐待から子供守ろう

高松キワニスクラブ 啓発グッズ配布

子供たちを虐待の被害から救おうと、社会奉仕団体「高松キワニスクラブ」(太田賀久会長)は17日、高松市のショッピングセンターで街頭啓発活動を行った。世界各地のキワニスクラ

ブが毎年4月に、地域ごとに奉仕活動を行う「キワニス・ワンデー」の一環。会員約20人が参加し、買い物客らに「児童虐待に気がついたら連絡を」と声をかけながら、湿布薬などが入った児童虐待防止の啓発グッズ約2千個を配った。

「虐待のニュースを見るとやはり気になる。もしもの時の連絡先(子ども女性相談センターなど)が分かっていたらよかった」と話した。

香川県綾川町の女性は

「虐待のニュースを見るとやはり気になる。もしもの時の連絡先(子ども女性相談センターなど)が分かっていたらよかった」と話した。



児童虐待防止を訴え、啓発グッズを配る高松キワニスクラブの会員(右)＝高松市のショッピングセンター

17.28.4.18 四国新聞

児童虐待防止を 買い物客に訴え

高松キワニスクラブ

民間社会奉仕団体の高松キワニスクラブ(太田賀久会長)は17日、児童虐待防止キャンペーンを高松市内の大型量販店で行った。写真。パンフレットなどを家族連れらに配布し、子ど



もたちの健全な育成環境の必要性を訴えた。

奉仕活動「キワニスワンデー」の一環として、毎年4月に実施しており、今年で8回目。同クラブの会員約20人がパンフレットや風船、湿布、県子ども女性相談センターなどの連絡先を載せたカード計2千セットを配った。

太田会長は「将来を担う子どもたちが健やかに育つ環境づくりは大切。この活動が少しでも児童虐待防止の役に立てれば」と話していた。